

質 疑 回 答 書 (設計図書)

舞鶴工業高等専門学校 総務課 施設係

工事名称 舞鶴工業高専(白屋)第1体育館設備等)工事

標記工事の設計図書について下記のとおり変更します。

No.	図面番号	質疑事項	回答
1	A-07	交通誘導員の配置について 設計図A-07の特記事項に「空調屋外機搬出入用クレーンの出入りの際は交通誘導員を適宜配置すること」と図示ありますが、別途工事搬入に伴う誘導員配置も改修工事に加算すると考えますか。加算するとの回答であれば必要人員数の教示をお願いします。	交通誘導員は想定していませんが、材料等搬入時の時間帯が限定されますので、その際は監督職員と協議とします。また、「空調屋外機搬入用クレーン」の箇所は誤りですので、下記のとおり削除とします。 【図面番号A-07】 (訂正前) 空調屋外機搬入用クレーンの出入りの際は交通誘導員を適宜配置すること。 (訂正後) 上記削除
2	A-03	防水改修工事について 設計図A-03図防水改修工事の「合成高分子ルーフシート防水S4S工法」の「種別」の教示をお願いします。	S-M2とします。
3		仮設計画について 工事用車両の駐車場、仮設資機材の設置については承認を得てから体育館付近でのエリア借用と考えて宜しいか。	仰せのとおりで結構です。
4	A-08	外部改修(木部塗装替)について 設計図A-08外部仕上げ表にて「B-破風板、鼻隠し板DP塗装替」と図示ありますが、既存木部の腐食部取替は無しと考えて宜しいか。	西側立面図右側に記載事項を下記のとおり変更とします。 【図面A-08】 西側立面図右側記載事項 (変更前) 破風板R部破損個所取替 W180×D27×L3000 3枚 DP塗装共 (変更後) 破風板R部及び段鼻隠し板破損部撤去後復旧 ラワン材W180×D27×L3000 3枚 DP塗装共
5	A-08	既存建具改修について 設計図A-08既存建具一覧の図示がありますが、建具作動調整は不要と考えて宜しいか。	仰せのとおりで結構です。
6	A-04 A-08	外壁改修(仕上塗材)について 設計図A-04仕上塗材仕上にて外装薄塗材Eに適用(※)が図示ありますが、立面改修図面A-08に図示がありません。今回外装薄塗材Eは該当なしと考えて宜しいか。	仰せのとおりで結構です。
7		外壁改修(防水改修)について 外壁改修に伴う建具周囲等のシーリング打ち替えが図示ありませんが、今回工事では該当なしと考えて宜しいか。	仰せのとおりで結構です。
8	A-06 A-08	石綿含有成形板撤去について 設計図A-06特記事項、9環境配慮工事にて「石綿含有成形板の除去」に適用となっていますが全面撤去張替と考えますか、又部分撤去とした場合の所数(枚数)の教示をお願いします。	下記のとおり変更とします。 【図面A-08】 西側立面図身側記載事項 (変更前) ケイ酸カルシウム板(900×1800)復旧DP塗装共 (変更後) 西側妻部石綿板(900×1800)破損3枚分撤去後、けい酸カルシウム板(厚8 DP塗装共)復旧
9	A-02	アスベスト含有の事前調査は 何検体としますか。カ所数の指示をお願いします。	採取、調査・分析は弊社で行います。採集場所等については、協議の上決定します。

10	A-04 A-05 A-08	アスベスト含有の場合、ケルン・高圧洗浄など全て対策が必要となりませんが、別途追加工事と考えてよろしいか。	<p>下記のとおり変更とします。</p> <p>【図面番号A-04】 4-4 外壁改修工事 仕上塗材仕上げ等 1. 工法 高圧水洗工法 加圧力 (変更前) ※30～50Mpa程度 (変更後) ※15Mp程度 2. 処理範囲 (変更前) 既存塗膜 惰弱部 (変更後) 石綿板を除く既存塗膜 惰弱部</p> <p>【図面番号A-05】 7 塗装改修工事 下地調整 せっこうボード面及びその他のボード面、下地調整の種別、塗替え 1. 下記を削除 ※ ○ 7 塗装改修工事 塗装 耐候性塗料塗り(DP) 石綿含有板 工程 1. 塗替えRB種に下記を追記 ※1 既存塗膜の除去、2 汚れ付着物の除去は省略とし、必要な場合は監督職員と協議とする。</p> <p>【図面番号A-08】 外部仕上表 1. 記号F 改修 (変更前) 外壁(石綿板) DP (B-1種) 塗替え (変更後) 外壁(石綿板) DP (A-1種) 塗替え 2. 記号G 改修 1. 記号Fに同じ 3. 記号K 改修 (変更前) 石綿板及び石綿板取合い水切(幅80mm) DP塗替え (変更後) 石綿板取合い水切(80mm) DP塗替え 4. 記号L 改修 (変更前) 軒裏天井ボードDP塗替え (変更後) 軒裏天井ボードDP (A-1種) 塗替え 5. 記号F 改修方法 以下を追記 注1) 既存塗膜の除去、2. 汚れ付着物の除去は省略とし、必要な場合は監督職員と協議とする。 6. 記号G 改修方法 5. 記号F 改修方法に同じ 7. 記号K 改修方法 5. 記号F 改修方法に同じ</p>
11	A-08	上記の場合、洗浄後の水処理も必要となりますが、別途追加工事と考えてよろしいか。	10、【図面番号A-05】に同じ。
12		足場工事において、壁繋ぎが必要と思われませんが、アスベスト含有の場合の対策費用は別途追加工事と考えてよろしいか。	<p>本工事内となります。</p> <p>「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策マニュアル」に基づき飛散防止対策を講じてください。</p> <p>なお、本工事における石綿の除去工事は「集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法」を原則とし、当該工法の採用が困難な箇所については、監督職員と協議とします。</p>
13		西側立面図にあるケイカル板復旧DP塗装共は、外壁1枚の貼替と考えてよろしいか。	4)に同じ。

14	A-08 A-09	西側立面図にある破風板R部破損箇所取替とあるのは木材の取替だけでしょうか。また詳細な納まり・形状のご指示願います。	木材の箇所となります。 詳細図などは別図6に追加しました。
15	A-08		外部仕上表、記号B、改修を下記のとおり変更とします。 (変更前) 屋根 (破風板、鼻隠し板) (変更後) 屋根 (破風板、段鼻隠し板)

標記工事の設計図書について下記のとおり変更します。

No.	図面番号	指示事項
変更1	—	質疑回答書(設計図書)の記載誤りの訂正等に伴い、設計図書の一部が変更になったので、変更箇所を反映した別図-1~6のデータを本日(令和4年10月4日)中に、舞鶴高専ホームページ (https://www.maizuru-ct.ac.jp/)、工事入札公告、舞鶴工業高専(白屋)第1体育館屋根その他改修工事、【変更】図面で閲覧に供します。
		以下、余白